

農林水産大臣賞

絵本の里けんぶち VIVAマルシェ（北海道剣淵町（けんぶちちょう）） ～若手農家発「軽トラマルシェ」でおいしい野菜を各地に届ける～

組織概要

○代表者 高橋 朋一

○所在地 北海道上川郡剣淵町

○構成員 生産者25名等

○活動開始年 平成22年



受賞のポイント

- 移動販売「軽トラマルシェ」の開始をきっかけとして、**新たな野菜（品種）の栽培への挑戦、加工組織等との連携などの取組の拡大**を通じて、若手農業者たちの活気に満ちた姿勢、行動等が顕著に見られるようになるなど、**地域農業の活性化と人づくりに貢献**している。
- また、豊富な品揃えの実現と目玉商品を作るとともに、「野菜ソムリエ」の資格を取得し、調理方法や保存方法などの情報を提供するなど、**積極的に消費者との交流を図ることで、集客が図られ出店回数が増加し、販売量も増加**することで、地産地消の拡大につながっている。
- 軽トラマルシェでの販売のほか、地域の飲食店やレストランなどへの販売、**地域の加工組織と連携して加工原料となる野菜の生産等にも取り組む**ことで、地域農業の振興に貢献するとともに、地産地消の核となっている組織であり、今後の発展・活躍が大いに期待できる。

取組内容

■取組みの経緯・成長の契機

- ・「ただ、黙々と作物を作るだけの農業は面白くない。みんなで何かに挑戦しよう」との思いで、平成22年4月に、農協青年部員13人で直接お客様のいる所に軽トラックで出向いて、農産物等を販売する「軽トラマルシェ」を開始。
- ・活動を広げていく中で、農協青年部員等が、この活動に自主的に参加しやすいよう、平成24年度に「絵本の里けんぶち VIVAマルシェ」に改組。また、平成25年10月に、「軽トラマルシェ」を商標登録することにより、信頼度・信用度が増し、商品のブランド化が図られた。

■取組みの特徴・活動の強み

- ・販売に当たっては、若者ならではの柔軟な発想で共通のロゴや統一した木箱に英字新聞を敷くなどディスプレイに工夫を凝らし、マルシェの雰囲気演出して集客につなげている。
- ・新たな野菜（品種）の栽培に挑戦し、**品揃えを400品種（当初50品種）に増加**させるとともに、市場では見かけない珍しい品種や国内では栽培が難しいとされる品種（ひよこ豆、レンズ豆）などの**目玉商品を作って消費者にアピールすることで、出店回数が23回（当初6回）に増加し、販売量も増加。販売額も約19百万円（当初約8百万円）と拡大**している。
- ・メンバー3人が「野菜ソムリエ」の資格を取得し、調理方法や保存方法などの情報を提供するなど、積極的に消費者との交流を図り、販売の促進につなげている。
- ・地域の直売所での販売、**加工組織と連携して原料となる野菜の生産を行うなど、取組が拡大することで、メンバーが32人（当初13人）に増え、生産体制が強化され、品揃えを支えている。**

■地域への貢献・波及効果

- ・20～40代の農業者や新規就農者を中心とした組織の取組を通じて、若手農業者の活気に満ちた姿勢、行動等が顕著に見られるようになる等、地域農業の活性化と人づくりに貢献している。